

- 日 時 令和5年12月18日(月)13:00~14:30
- 会 場 別海町生涯学習センターみなくる
- 出席者 委員23名中21名出席
- 会議内容

## 1 開会

### <冒頭、会長からあいさつ>

- ・令和5年5月に地域公共交通計画を策定した。
- ・コロナ禍前の利用者水準には戻っておらず、地域の人口減少進行や高齢化などによる運転手不足など、公共交通を取り巻く状況は一層厳しさを増している。
- ・本日の協議会では、交通事業者、各自治体の取組状況について報告をいただく。皆様と情報の共有を行い、釧路・根室地域の公共交通の維持・確保に向けて、地域が一体になって取り組みたいと考えている。
- ・限られた時間ではあるが、活発なご議論をいただきたいと考えているので、よろしく願いする。

## 2 議事

### (1)目標達成に向けた施策及び取組内容の実施状況について

【資料1-1】【資料1-2】【資料1-3】

資料に基づき、交通事業者、市町村及び振興局から補足説明を行った。

【主な発言等】

#### ◆くしろバス

- ・地域間幹線系統の根室線の協議について、現在、輸送量が15.0に届いていないので令和6年の10月以降、国庫補助の対象外となることを危惧しているが、結論がまったく出ていない。くしろバスとしては根室線の路線廃止を検討せざるを得ない。

#### ◆阿寒バス

- ・コロナ禍前と比較し需要が徐々に戻ってきているが、釧路羅臼線については戻りが鈍化しており、関係市町と協議し、運行回数形態を見直したいと考えている。
- ・全体で20名程度の乗務員が不足している。

#### ◆根室交通

- ・YouTube にバスの乗り方の動画を公開しており、その動画の DVD を各教育施設に配布している。
- ・根室交通で働くことになれば移住がついてまわる点が入社をあきらめる理由になっている。

#### ◆JR 北海道

- ・コロナ禍前である2019年度と比べると収入、輸送量は回復しておらず、厳しい状況。
- ・人員不足について、運転手の確保もさることながら設備をメンテナンスする社員の確保が重要。社員が若年のうちに退職してしまうという課題を抱えており、この状況に対応するための取組を行っている。

#### ◆釧路市

- ・市内のダイヤ改正を行い、広域路線との乗換に配慮したダイヤとしている。
- ・利用促進の取組として「バスふれあいイベント」、「バスでお出かけプロジェクト」を実施した。

#### ◆釧路町

- ・根室線の協議について、早急に方向性を見出していく必要がある。
- ・利便性向上の取組として遠矢線の実証実験、コミュニティバスの運行を行う。

- ◆厚岸町
  - ・利便性向上の取組として国泰寺線の一部を買物循環バスとして運行するとともに、利用促進として福祉交通回数券の助成事業を行っている。
- ◆浜中町
  - ・根室線について、多くはないが一定の利用者がいる現状を踏まえ、方向性の検討を進めている。
  - ・利用促進の取組として高齢者向け敬老バス券交付を行っている。
- ◆標茶町
  - ・利便性向上及び利用促進の取組として「のりあいハイヤー」の運行を行っており、利用しやすい方法を検証するため試行運行を行っている。
- ◆弟子屈町
  - ・利用促進の取組として「バスに乗ろう会」を小学生と免許返納を考えている70歳以上の方を対象に開催した。
- ◆鶴居村
  - ・利用促進の取組として公共交通に関するパンフレットを作成し、毎年更新を行っている。
- ◆白糠町
  - ・利便性向上の取組として白糠駅周辺の整備を検討しており、各公共交通機関の拠点となるような施設づくりについても検討を行っている。
- ◆根室市
  - ・利用促進の取組として10月から11月に公共交通の不便地域の解消に向けたデマンド型乗合タクシーの実証運行を行った。
- ◆別海町
  - ・高齢者と障がい者の方を対象に、バスでもハイヤーでも使える共通の利用券の助成をしている。
  - ・野付半島の夕焼けを背景とした体験のモニターツアーを実施予定だが、現状、バス路線がない。今後はそうしたツアー実施の際にバスの利用も検討していくことを考えている。
- ◆中標津町
  - ・バスの運転手不足による廃止や再編というニュースが目につく。根室交通は現状は何とか保っているという話だが、将来的に見れば非常に苦しいということがよくわかった。
  - ・長大路線の維持に関しては、非常に難しさを感じている。
  - ・中標津空港線は2月まで実証運行をしているが、実証運行が終わった後にどのようになっていくのかを見据えて、引き続き注視していかなければならない。
- ◆標津町
  - ・公共交通、スクールバス、通院ハイヤー、高齢者福祉バスなどの交通モードが町内に存在しているのでひとまとめにして周知するなど、既存の事業をフルに活用していきたい。
  - ・ライドシェアの問題も出ているので、動きを注視していきたい。
- ◆羅臼町
  - ・登下校時の時間帯の町内循環バスがあり、朝と夕方の移動は比較的に手厚い状況であるが、高齢者の足の確保として、昼の移動が不便との声があるので解決に向け検討を行っている。

(2)北海道釧路・根室地域公共交通活性化協議会、釧路地域生活交通確保対策協議会及び根室地域生活交通確保対策協議会の運営について

【資料2】

事務局から資料により説明。

◆質疑応答（有・無）

### 3 その他

#### ◆質疑応答（有・無）

（弟子屈町）

・ライドシェア関連の国の動きについての情報があれば伺いたい。

（北海道運輸局釧路運輸支局）

・北海道運輸局に確認を行ったが、国土交通省内で具体的に何を行うのかという話まで進んでいない。

### 4 全体の総括

#### ◆北海道運輸局釧路運輸支局

・地域の公共交通の形をどのように作っていくかの最終判断というのは沿線自治体の皆様方なのだと思うので、いずれ決めなければいけないものであれば、早め早めに決めていった上で首長にご提案していくというのが必要だと思う。

・運転手の確保について、北海道運輸局としても退職自衛官の方を引き入れようと全道で動いており、釧路・根室管内の運転手になっていただけるように、取組を進めていきたい。

### 5 閉会

・会長から謝辞を述べ、閉会。

以上